

防災行政無線等の整備について

大森 貴之



〔質問〕本市の市民に対する情報提供にはどのようなものがあるのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕しろいし安心メールのほか、白石市ホームページ、白石市公式LINE、白石市公式フェイスブックなどがある。

〔質問〕これらを利用するには、携帯電話やパソコン等の受信機が必要となるが、これらの設備を持たない方々の情報伝達手段はあるのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕テレビにテロップを流していたり、ラジオ等で放送していただいている。

入促進に努めている。

〔質問〕国の緊急防災・減災事業債を活用し、新しい機種を中心に防災行政無線の更新を進める自治体が増えていく。本市は機器の更新を考えないのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕緊急防災・減災事業債の活用期限は令和7年度までということも承知している。現在使用しているデジタルMCA無線は、導入から3年経っていない機器であり、通信サービス終了の令和11年までは十分使用できるものと考えている。

更新には多額の費用がかかることから、緊急防災・減災事業債に代わる有利な起債などが整備されるものと期待している。現在のMCA無線を使用しながら、システムの通信サービス終了までに機器を更新し、迅速かつ確実な災害情報伝達が途切れないよう努めていきたい。

河川の氾濫対策における宮城県との連携

大内 卓也



〔質問〕河川管理における、宮城県との連携体制について伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕白石市水防計画では、関係機関と連携し水防活動にあたることとしている。地域からの要望等に対しては、その都度連絡し対応している。また、名取川・阿武隈川下流等流域治水協議会にも加盟。関係職員が一堂に会し、情報交換・情報共有を行い、ハードソフト両面でさまざまな事業に取り組んでいる。

〔質問〕河川浚渫工事の今後の予定を伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕県管

所としては開設しないこととした。今後も事例に合わせ、その都度見直しを行っていく。

〔質問〕白石高等技術専門校を市の指定避難所とする考えはあるか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕白川地区の人口規模などから、現在の指定避難所でも十分と考えている。

〔質問〕地区公民館の新築計画について伺う

〔答弁〕〔生涯学習課長〕白石市公共施設等総合管理計画・個別施設計画では、当面継続使用しつつ、令和8年度までに長寿命化、複合(移転)等を検討する方針としている。指定管理団体と情報を共有し、適切に維持管理していくとともに、具体的な方向性について、取組方針に沿って検討していく。

〔質問〕指定避難所の見直しについて伺う。

◎指定避難場所の見直しについて

〔答弁〕〔危機管理課長〕浸水の恐れが高い白石中学校、白石市スポーツセンター、福岡中学校、大平公民館、越河公民館は、風水害時の避難